

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

如月 月次祭挨拶

サルトーソ

皆様こんにちは

如月、月次祭に参拝して頂

き誠にありがとうございます。

人型ご奉仕お疲れさまでし

た。

今年の節分大祭は、天気予

報では雨、又は雪の予報でし

たが、当日は風なし雨なし雪

なしで、大祭に参拝させて頂

きました。

皆様のお陰で人型七千九百

八十体・型代六千二百三体で

お玉串三百四十四万四百円、企

業五十一体でお玉串五十一万

円、合計三百六十五万四百円

を納めさせて頂きました。

人型と型代また企業型代は

祭典に十分間に合うようにお

納めいたしました。

お玉串は二月四日に無事送

金して先日、節分大祓お受書

が届きました。

個人で郵送された方もおら
れますので、例年と同じ金額
を納めさせて頂きました。

今回二回目の瀬織津姫、和
知川行事の時、かがり火を持
たれる方の、火が点いてない
のを持たせていただきました

が、竹が太く持ちづらく火の
粉が降りかかっても良いよう
に皮手袋をはめて持たれるの

に大変なお役だと感じました。
直心会の方達は瀬織津姫の
脇に寄り添って人型の入って

いる壺を持っておられる方を
警護されたり、車の通行を誘
導されたりしておられました。

和知川行事が終了し、豆ま
き行事では教主さまより蒔か
れた豆に歓声が殿内に響き渡
りました。

今日の大神様のお灯りは節
分大祭でお下げになった御神
火を使わせて頂きました。

神饌物でお供えしました大
豆は、森川さんからのご提供

です。

直会后、令和六年度の決算
報告を総代会にて審査して頂
きます。

二月二十三日は教本3級の
講習会を開催いたします。一
日だけの講習会ですので、以
前、受講したけど再度、受講

されてもかまいません。大道
場修行と同じように思っ受
講して頂ければ幸いです。

三月になりますと東海サミ
ットが岐阜主会の主催で三月
一日(土)と二日(日)にグ
リンパレス春日井で行われま

す。一日の月始祭当日は九名
がサミットに参加するため、
女性祭員の祭典に参拝出来な
いのが残念です。

四月、春の大祭につきまし
て今回は執行委員長が若葉支
部となっております。三月、月
次祭後に大祭の打ち合わせを
行います。

この大祭には大本アイゼン
講座として講師の要請をして
いましたが、今回は前田特派
が講師としてお見えになられ
ます。

今年には名古屋分苑設立六十

年になりますが、何か記念に
なるものを参拝者の方達にお
渡しできるとよいと考えてい
ます。

宣伝使の推薦書の提出は四
月、月始祭日には、ご提出お
願いたします。

本日のご参拝誠にありがと
うございました。

コーランダンコン

行事報告

●月始祭・節分大祭遥拝祭

二月一日(土)

参拝者 二十三名

齋主 妹尾 正治

祭員 日比 達朗

祭員 畠山 亜美

祭員 鈴木 克彦

進行

●節分大祭

地方祭員 日比達朗

●月次祭

二月十六日(日)

参拝者 三十七名

齋主 瓜生 秀明

祭員 永島 昶

祭員 妹尾 正治

祭員 仙頭 志音

裏方 日比 達朗

典礼長 小林 清人

伶人 飯田 直美

伶人 澤田 淳

伶人 長谷川美枝

伶人 伊藤恵美子

進行 伊藤久仁男



●「ご神水によるお祓い活動

二月九日(日) 節分大祭で
ご下付頂いた金明水を港区の
藤前干潟から伊勢湾に、又名
古屋港と中川運河に天津祝詞
を奏上後、注がせて頂き地域
の浄化を祈念致しました。

また報道で、地元の方々の
思いで建てられた、熱田区の
愛知時計電機(株)のお地藏さん
を移動したという事を聞きま
した。

その時に昭和二十年六月の
熱田大空襲で学徒を含む二千
六百名が犠牲になりました。
熱さの中、多くの人が横に流
れる堀川
に飛び込
んだが、焼
夷弾の熱
で川の水
が熱くな
っていた
そうです。
この堀川



へも天津祝詞を奏上後、ご神
水を注いで平安を祈念致しま
した。

参加者二名

●教本三級 認定講習会

二月二十三日(日)堀宜雄・
妹尾正治講師により、分苑を
会場に開催された。

午前九時からの開講式に続
き教本学習・対話実習「大本
とは・大本の出現・まことの
神・霊界の実在」を行った。
午後からも教本学習・対話
実習「人生の目的・生活の原
理・実践の原理・大本の使命・
聖地の祭り」を行った。
最後に認定テスト行い、ア
ンケートを提出して閉講した。

受講者

初級三名 復習者三名



行事予定

三月十六日(日)

月次祭 午前十時半より

尾張戸神社 遥拝祭

前期機関長会議・研修会

四月五日(土)

月始祭 午後一時半より

三月二十九・三十日(土・日)

誠心会員研修会(綾部)

短歌作成の勉強会も開催

されます

忍び草

神ノ倉分所

宣伝使 大宮正彦 毘古

享年 九十二歳

令和七年二月十日 帰幽

城北分所

宣伝使 浅野吉章 毘古

享年 八十七歳

令和七年二月十八日 帰幽

神ノ倉分所

宣伝使 山田美智子 毘古

享年 八十六歳

令和七年二月十八日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

愛善歌奉納大会 練習のお知らせ

5月4日に開催される愛善歌奉納大会に、今年も参加することになりました。次のような日程で練習を行いますので多くの皆様の参加をお願いします。

奉納曲「救霊」(練習時間30分)

- 3/15(土) 14:00頃からお掃除終了後
- 3/16(日) 13:00頃から月次祭終了後
- 4/5(土) 15:00頃から月始祭終了後
- 4/19(土) 13:00頃から大祭準備終了後
- 4/20(日) 15:30頃から春季大祭終了後

綾の聖地エルサレム大本歌祭

10月12日(日)の執行に向けて献詠歌を投稿しましょう。(締め切り5月15日)

詳細は大本誌を参照ください

2月16日に開催された総代会にて下記のように決算が承認されました

令和6年度 収支決算書

自 令和6年01月01日			
至 令和6年12月31日			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
玉串料	2,553,500	祭務費	699,826
本部交付金	744,760	玉串費	401,500
分苑維持献金	1,360,170	教化費	338,724
雑収入	3,544	総務費	1,086,787
		維持費	827,634
		厚生費	107,800
		小計	3,462,271
		当期収支差額	1,199,703
合計	4,661,974	合計	4,661,974